

民生福祉常任委員会記録  
(所管事務調査分)

平成30年6月14日

【開催日】 平成30年6月14日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午後2時15分

【出席委員】

委員長	吉永美子	副委員長	山田伸幸
委員	大井淳一朗	委員	杉本保喜
委員	恒松恵子	委員	松尾数則
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】

副市長	古川博三		
福祉部長	岩本良治	福祉部次長兼高齢福祉課長	兼本裕子
福祉部次長兼国保年金課長	桶谷一博	子育て支援課長	川崎浩美
子育て支援課課長補佐	別府隆行	子育て支援課保育係長	野田記代
高齢福祉課技監	河野静恵	高齢福祉課課長補佐	河田圭司
高齢福祉課主査	石井尚子	高齢福祉課主査兼介護保険係長	篠原紀子
高齢福祉課主査兼地域包括支援センター所長	荒川智美	高齢福祉課高齢福祉係長	古谷雅俊
国保年金課課長補佐	石橋啓介	国保年金課国保係長	石田由記子
国保年金課収納係長	山田幸生	国保年金課特定健診係長	別府奈緒美
病院事業管理者	矢賀健	病院局事務部長	堀川順生
病院局事務部次長兼医事課長	岡原一恵	病院局総務課長兼庶務係長	和氣康隆
病院局総務課課長補佐兼経理係長	藤本義忠	病院局総務課経理係主任	村上陽子
病院局医事課医事係長	佐々木秀樹		

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	議事係主任	原川寛子
------	-----	-------	------

【付議事項】

- 1 議案第55号 山陽小野田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（子育て）
- 2 議案第53号 平成30年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第1回）について（高齢）

3 所管事務調査 平成30年度国保料率について（国保）

4 所管事務調査 病院事業報告について（病院）

5 陳情・要望について

6 閉会中の継続調査事項について

---

午前10時 開会

---

1 議案第55号 山陽小野田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

2 議案第53号 平成30年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第1回）について

（記録については議案分に記載）

---

午前10時25分 休憩

---

---

午前11時9分 再開

---

3 所管事務調査 平成30年度国保料率について

**【議事の概要】**

- ・診療報酬一人当たりの費用額は平成29年度伸び率3.2%、平成28年度2.07%、平成27年度4.2%
- ・順位は平成29年度13市中で3番目、平成28年度4番目、平成27年度が6番目
- ・医療分 所得割8.5%、均等割2万4,000円、平等割2万1,900円
- ・後期支援分 所得割2.5%、均等割6,900円、平等割6,300円
- ・介護分 所得割2.0%、均等割6,300円、平等割4,200円
- ・全ての料率を下げしており、特に子育て世代の負担が軽減されている。

（詳細は別紙資料参照）

【主な質疑】

山田伸幸副委員長 医療費が高いのに山陽小野田市の保険料の設定が安くなっている原因は何か。

桶谷福祉部次長 山口県全体で保険料収納必要額を求め、市町村ごとの被保険者数と所得水準で按分をして、医療費水準を反映させている。

山田伸幸副委員長 本市は所得水準が低いということだが、国保加入世帯の平均所得はどの程度か。

桶谷福祉部次長 平成28年度決算では、所得ベースは一人当たり46万程度で、13市中2番目に低い状況である。

山田伸幸副委員長 以前は農林水産業や自営業者が多くいたが、今は少ないのか。

石田国保年金課国保係長 年金の方が多い。所得ベースでは営業所得6.2%、農業所得0.2%、年金所得25.3%、無所得42.8%になっている。

4 陳情・要望について

(記録については議案分に記載)

---

午前11時35分 休憩

---

---

午後1時 再開

---

5 所管事務調査 病院事業報告について

【議事の概要】

- ・平成30年2月、3月、4月分の患者数、経営状況及び資金繰りの報告  
(資料の訂正：平成30年4月分の当月分入院1日平均163.6人に修正)
- ・平成30年4月、5月に開催された経営会議の概要の報告  
(詳細は別紙資料参照)

【主な質疑】

大井淳一郎委員 3月分の病床稼働率が前月に比べて落ち込んでいるが、主な原因は何か。

堀川病院局事務部長 28年度の実績に基づいて3月補正で上げたが、気候の影響などで患者数が少なかったのではないか。

大井淳一郎委員 2月に比べて3月は入院の医業収益が高いが、整合性は。

藤本病院局総務課課長補佐 入院は減っているが、一人当たりの単価が高い患者が増えたため、入院収益のトータルでは上がっている。

大井淳一郎委員 3月の医業収支比率が51.5になった原因と、28年度に比べてどうか。

藤本病院局総務課課長補佐 職員給与費では賞与引当金等繰入額や退職給付費、ほかに委託料、材料費など年度末の支払が集中する。医業費用が増えることにより、相対的に医業収支比率が下がる。昨年度は61.9%。

山田伸幸副委員長 減価償却費は大体決算月に一括して挙げるが、毎月計上している理由は何か。

藤本病院局総務課課長補佐 医業収支比率を計算するに当たって影響が大きいので、従前から12等分して毎月計算することとしている。

大井淳一郎委員 4月分の病床稼働率は昨年度と比べてどうか。また少ない原因は何か。

矢賀病院事業管理者 内科医が1名減になっていることと、例年この時期は医師の異動時期で少し下がってしまうことがある。今年は非常に低いと感じている。5、6月は回復している。

山田伸幸副委員長 市内の開業医に患者を紹介してほしいと言って回るということだったが、その状況はどうか。

矢賀病院事業管理者 まだ行動できていない。地域連携室の体制や職員の意識を変えた後に開業医へ回ろうと思う。7月以降を考えている。

山田伸幸副委員長 銀行からの借入利率はどの程度払っているのか。

藤本病院局総務課課長補佐 一時借入金を山銀から借りる場合、年利1.475%である。

大井淳一郎委員 今後、一時借入金を借りる予定の目安は付くのか。

藤本病院局総務課課長補佐 資金繰りの年次計画では、不足するとしたら6月の賞与、9月の企業債償還、12月の賞与が考えられる。幾ら借りるかは直前でないと判断できない。

大井淳一郎委員 改革プランに沿って一時借入金を減らす工夫はあるのか。

藤本病院局総務課課長補佐 3月に市から繰入金をもたらしたことにより資金繰りが好転した。今後の収入増の計画としては白内障手術、費用では価格交渉による経費の削減など全体的に現金不足を解消するように努めたい。

堀川病院局事務部長 昨年途中からまめに資金計画を見極めて、頻度は多くても必要のないものは極力借りないということにしており、昨年終盤から効果が現れている。6、9、12月についても財政と協議しながら進めている。

大井淳一郎委員 長期借入金償還金の現在の残高と返済の予定はどうか。  
藤本病院局総務課課長補佐 一般会計については平成30年度償還終了予定である。工水については平成33年度に償還完了予定である。

大井淳一郎委員 顧問はこれまでも経営会議に出ていたのか。顧問は何人か。  
和氣病院局総務課長 顧問は前事業管理者ともう一人、29年度までも出席していた。現在は必要に応じて出席している。

大井淳一郎委員 白内障手術に向けた体制はいつぐらいから取れるのか。  
堀川病院局事務部長 具体的に何月というのは言えないが、近いうちに行いたい。山大から来られる先生が現場で確認した上で安全・安心な手術を行いたい。

大井淳一郎委員 白内障手術について市民病院独自のPRの予定はあるのか。  
堀川病院局事務部長 医療なのでなかなか積極的なPRはできない。

大井淳一郎委員 ラジオやホームページ、広報紙でのPRはできるのか。  
矢賀病院事業管理者 できる。会合を通じてPRもしている。患者の数よりも、こちら側の受入れがどこまでできるかを危惧している。

杉本保喜委員 診療科での目標はあるのか。  
矢賀病院事業管理者 手術は大学から教授に来てもらう予定で、初めは月1回である。

山田伸幸副委員長 経営会議の内容は全職員に共通理解されているのか。  
堀川病院局事務部長 各所属長が出ており、部下に対して徹底している。

山田伸幸副委員長 診療科ごとの収支状況に対する指導が必要だと思うが、経営会議では議論していないのか。  
堀川病院局事務部長 3月議会でそのような話があったことは伝えている。具体的にどういう形でするかは今後考えていきたい。

矢賀病院事業管理者 是非必要と考えている。各診療科の業績をオープンにして、ほかの科のも見られるようにすべきと思っている。ただ科によって診療報酬も人員も違うので、数字だけを見て断定するのは難しい。

杉本保喜委員 定例的に経営会議は行っているのか。  
和氣病院局総務課長 毎月第1、3の火曜日に行っている。

大井淳一郎委員 6月から事業管理者が進行役ということだが、これまでは誰が進行していたのか。変えた狙いとは何か。  
和氣病院局総務課長 5月までは総務課長が進行していた。

矢賀病院事業管理者 これまではどこまで決まったかが分かりにくかった。私がおの場で決断して、決まったことをきちんと残したいというのが1番の狙いである。

山田伸幸副委員長 人間ドックや脳ドックの受入れはどうか。

岡原病院局事務部次長 人間ドックはこれまでと同様、受入れに積極的に取り組みたい。脳ドックは脳外科の常勤医がいないので、導入は難しい。

大井淳一郎委員 脳卒中の受入れができる病院はどこか。

矢賀病院事業管理者 脳卒中が明らかに疑われる場合は、救急隊が専門性の高い病院を選んでおり、問合せがあったときも専門病院を勧めている。

杉本保喜委員 DMA Tの進捗状況はどうか。

堀川病院局事務部長 今年3月に車両と機器を購入し、倉庫もできている。

杉本保喜委員 要員の教育はどのように進めていくのか。

堀川病院局事務部長 DMA Tの隊員は現在5名いる。5年のうちに2回講習を受け、更新することになっており、本年度、講習を受講予定である。昨年、院内で実施した防災訓練では、DMA T隊員も参加し、トリアージを行った。

山田伸幸副委員長 患者が退院後に地域できちんと生活できるような連携が取れているのか。開業医との協力体制はどうか。

矢賀病院事業管理者 患者、家族と開業医との連携をMSWがきちんと対応している。

山田伸幸副委員長 メディカルソーシャルワーカーはよく社会福祉士や保健師がやっているが、独自の資格があるのか。

和氣病院局総務課長 当院で雇用している職員は社会福祉士の資格を持っている。

大井淳一郎委員 現在の地域連携室の体制はどうなっているのか。

岡原病院局事務部次長 室長である兼任の看護師を含めて、看護師3名と社会福祉士の4名体制である。地域連携室では他院からの転院、当院からの転院の調整を行っている。市包括支援センターや訪問看護ステーション等とも連携を取りながら退院調整を行っている。また、広域の地域連携の部会に所属し、情報交換を行っている。

大井淳一郎委員 逆紹介率の現状はどうか。

矢賀病院事業管理者 紹介率が約30%で、逆紹介率が約45%である。

吉永美子委員長 病床稼働率向上に取り組むためにどのような協議をしたのか。

矢賀病院事業管理者 余りたくさんは出ていない。診療部会で紹介率や現在の状況を説明し、努力してもらおうようにしている。

吉永美子委員長 医事業務委託の公募の申込状況はどうか。

和氣病院局総務課長 申込者はいたが、提案書受付前であり、数など詳細は言えない。

吉永美子委員長 健康講座などの機会を捉えて、市民病院をPRする考えはあるのか。

堀川病院局事務部長 積極的に外に出て、市民病院をアピールしたい。

矢賀病院事業管理者 6月から始めた不妊相談をホームページに載せたら、効果があった。稼働率を上げるために、地域連携室に紹介してもらう場合に、医師がどの分野が得意かを開業医にアピールしたい。

松尾数則委員 内科医が1名減ったということだが、医師の確保についてどのように考えているのか。

矢賀病院事業管理者 主には山口大学からの派遣なので、大学と良好な関係を保っていききたい。5月下旬に大学へ就任挨拶で回ったときには、市民病院に対しては良い印象を持っている感じを受けた。医師数を増やすのを目標にして、常に意識している。

大井淳一郎委員 医師派遣に当たり、市民病院と医局のどちらが医師を決めるのか。どの診療科の医師を充実していききたいと考えているのか。

矢賀病院事業管理者 こちらが選ぶ状況にはない。特に欲しいのは医師が足りない内科だが、どの科でも欲しい。

山田伸幸副委員長 研修医の受入れはできるのか。

矢賀病院事業管理者 初期研修は山口大学の研修協力施設になっており、地域医療については研修できる。単独で研修指定病院になる要件は満たしていない。県の定員はオーバーしており、新しく研修病院として認められるのは無理なのではないか。

---

午後2時5分 休憩

---

---

午後2時9分 再開

---

6 閉会中の継続調査事項について  
(記録については議案分に記載)

---

午後2時15分 散会

---

平成30年6月14日

民生福祉常任委員長 吉永美子